

項目別評価

大項目 1. 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上

評価：B

	小項目数	V	IV	III	II	I
求められる医療の提供	9	2	2	4	1	0
信頼される温かな医療の実践	6	0	4	2	0	0
地域医療連携の強化 及び地域への貢献	3	0	1	2	0	0
優れた医療人の育成・確保	1	0	0	1	0	0
合 計	19	2	7	9	1	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

令和5事業年度の実績報告を確認すると、中期計画に掲げた「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上」に向け、求められる医療の提供を実施し、信頼される温かな医療の実践・地域医療連携の強化及び地域への貢献・優れた医療人の育成・確保に取り組み、年度計画をおおむね計画どおり実施していると評価できる。

<総合医療センター>

- 令和5年5月の新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の5類移行後も大阪府のフェーズに応じた重症患者及び中等症患者の専用病床を確保し、感染状況に柔軟に対応しながら、3次救急や高度な手術・治療などの通常医療との両立を図り、高度専門医療機関としての役割も同時に果たした。
- がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療提供体制の整備を図った。
- 小児医療では、令和4年7月に大阪府小児中核病院に指定されて以降、高度専門医療機関としての役割も同時に果たした。
- 今後も質の高い総合的な医療の提供に努めてもらいたい。また小児がん登録件数は、目標を達成しなかったものの小児がん診療をはじめとした小児医療のより一層の向上に向けての今後の取組に期待する。

<十三市民病院>

- 令和5年5月の新型コロナの5類移行までの間、新型コロナ専門病院としての役割を果たした。
- 専門病院の解除に伴い、内科系2次救急の受入や令和5年10月には結核患者の受入を再開するとともに、引き続き地域医療機関からの緊急診療要請に対応した。
- 地域の医療機関と連携し、地域の医療ニーズに対応した医療の提供に努めてもらいたい。

<住之江診療所>

- 小児・周産期における一次医療の提供を行った。
- 住吉市民病院廃止後の小児・周産期における一次医療に対応するため、地域医療の確保に努めてもらいたい。

大項目 2. 業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善

評価：A

	小項目数	V	IV	III	II	I
自律性・機動性の高い 組織体制の確立	1	0	1	0	0	0
経営基盤の安定化	5	0	5	0	0	0
合 計	6	0	6	0	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

令和5事業年度の実績報告を確認すると、中期計画に掲げた「業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善」に向け、自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立に努めるとともに、経営基盤の安定化に取り組み年度計画を順調に実施していると評価できる。

- 新型コロナの影響により悪化した前年度と同様に厳しい経営状況となった。
- 経常収支比率及び自己資本比率は、新型コロナ関連の補助金収入の影響もあり、目標を上回った。
- 医業収支比率についても、患者数の増加により、医業収益が増加したことで各病院とも前年度及び目標を上回った。
- 今後も材料費や人件費の高騰が予想され、更に一層の努力が必要になるため、引き続き、より効率的な運営を図りながら、経営基盤の安定化に向け取り組んでもらいたい。

全体評価

「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している。」

大項目 1	市民に提供するサービスその他の業務の質の向上	Bおおむね計画どおり
大項目 2	業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善	A計画どおり

（評価にあたっての意見、指摘等）

大項目の「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上」は、おおむね計画どおり、「業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善」は、計画どおりと評価した。また、新型コロナに関しては、令和5年5月の5類移行までの間、大阪府・市からの要請に基づき、総合医療センター・十三市民病院は、重点医療機関として患者の受入れに取り組み、5類移行後も感染状況に柔軟に対応しながら、高度専門医療、一般医療を提供した。

以上を踏まえると、令和5事業年度における大阪市民病院機構の取り組みは、全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗していると評価できる。

今後も医療機能の維持・向上を図り、効率的・効果的な病院運営と経営基盤の強化により一層努め、引き続き質の高い医療を提供し、市民の信頼に応えてもらいたい。